

# 平成29年度 全国学力学習状況調査結果をうけて

## 1 生徒の学力状況の概観

今年度の本校の全国学力・学習状況調査では、国語Bでは全国平均をやや下回りましたが、国語Aは全国平均とほぼ同様の結果となり、数学A、数学Bでは、全国平均を上回りました。特に開校以来の課題であった数学Bにおいて、昨年に引き続き結果をだすことができたことはこれまでの取組の成果であると考えます。今後も、仲間とともに自ら進んで学ぶ生徒の育成をめざし、言語活動の充実に力をいれるとともに、「見える化」した授業づくり等を通して、学力の向上に努めていきます。

## 2 各科目の分析結果と課題及び改善の方策

### 国語A 主として「知識」に関する問題

#### <分析結果と課題>

- 「読むこと」の領域で高い結果がでている。特に、登場人物の言動の意味を考え、内容を理解することや目的に応じて必要な情報を読み取ることがよくできている。
- ▲「話すこと・聞くこと」「言語についての知識・理解・技能」の領域に課題がみられる。特に、目的に応じて資料を効果的に活用して話すことや事実と考えとの関係に注意し、構成を工夫して話すことができていない。

### 国語B 主として「活用」に関する問題

#### <分析結果と課題>

- 「読むこと」の領域で、比較的良い結果となっている。特に文章の中心的な部分と付加的な部分とを読み分け、要旨を捉えることや、目的に応じて必要な情報を読み取ることができている。
- ▲「書くこと」の領域に課題がみられる。特に必要な情報を集めるための見通しをもつことや、表現の仕方について捉え、自分の考えを書くこと、相手の反応を踏まえながら事実や事柄が相手に分かりやすく伝わるように工夫して話すことができていない。

#### <改善の方策>

- ・根拠を明確にして、自分が感じたことや考えたことを書く活動を充実させる。
- ・スピーチの場面で、聞き手から質問したり、内容や伝え方について助言し合ったりする場を設け、表現の仕方や聞き方を互いに学び合う活動を行っていく。
- ・必要な情報を集めながら自分の考えをまとめる際、目的や意図を明確にし、どのような効果が期待できるかなどの見通しをもって取り組んでいくことができるように工夫していく。

### 数学A 主として「知識」に関する問題

#### <分析結果と課題>

- すべての領域で全国平均を上回っている。特に「関数」の領域でかなり高い結果が出ている。与えられ

た一次関数の表において、変化の割合の意味を理解していることや二元一次方程式が表すグラフを選ぶことがよくできている。

○「図形」の領域では、空間における直線と平面の平行について理解していることや多角形の内角の和の求め方を理解していることがよくできている。

### 数学B 主として「活用」に関する問題

#### <分析結果と課題>

○「関数」の領域で高い結果がでている。数学的な表現を事象に即して解釈し、的確に処理することがよくできている。

▲「資料の活用」の領域に課題がみられる。資料の傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができていない。

#### <改善の方策>

- ・今後も継続して既習事項の学び直しの充実を図る（復習プリント、小テスト、チャレンジテスト）
- ・学習内容の定着状況や一人一人の生徒のつまずきを把握し、今後の指導に生かしていく。
- ・資料の傾向を的確に捉えて判断するために、資料の分布の様子を捉え、説明する場面を設定していく。

### 3 生徒質問紙の分析結果と課題及び改善の方策

#### <分析結果と課題>

○朝食を毎日食べ、毎日同じくらいの時刻に起きるなど、規則正しい生活をしている生徒が多い。

▲「学校の授業時間以外に普段2時間以上勉強している」と解答している割合が全国平均よりも低い。

▲「家で自分で計画を立てて勉強している」と解答している割合が全国平均よりもかなり低い。

○1日のテレビの視聴時間やゲームをする時間は全国平均よりも少ない。

△1日の通話やメール、インターネットをする時間は全国平均とほぼ同様の結果となっている。

○「国語の勉強が好き」「国語の勉強は大切だと思う」と解答している割合は全国平均よりもかなり高い。

○「数学の勉強が好き」と解答している割合が全国平均より高い。

○「学校の規則を守っている」「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」「人の役に立つ人間になりたいと思う」と解答している割合が全国平均よりも高い

○「自分にはよいところがあると思う」「学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがある」と解答している割合が全国平均よりも相当高い。

▲「友達との約束を守っている」と解答している割合が全国平均よりも低い。

#### <改善の方策>

- ・学校と家庭で連携し、テレビを視聴する時間やゲームに費やす時間、インターネットをする時間等について、改めてルールを設定するなど、生活習慣の見直しを行う。
- ・「家庭学習の手引き」をもとに、生徒に明確な目標をもたせて意欲を引き出し、保護者と連携しながら家庭学習の一層の充実を図る。
- ・「学校」「家庭」「地域」の連携により、様々な角度から子供たちを見守り、望ましい生活習慣や学習習慣の定着に努めていく